

聖学院大学 第 6 回大学評価会議 報告書(総括)

I 聖学院大学 第 6 回大学評価会議 実施概要

1. 趣旨

聖学院大学の教育方針・内容及び学外との連携などを対象にした自己点検・評価による改善に関して、地元自治体及び地域の経済団体等からご意見・評価を頂き、一層の大学教育の拡充及び地域との連携の推進を図る。

2. 第 6 回テーマ

「これからの時代に必要な力を育む大学教育とは？」

ー地域とともにある聖学院大学の教育の可能性と課題について考えるー

本学の教育改革と教育活動の事例紹介、各学科の教育活動を通じた地域社会への中核人材・専門人輩出の取り組みについての説明後、グループ協議により本学の活動に関するご意見・評価・ご提言をいただいた。

3. 外部有識者に意見・評価・提言を求める事項

議題 1. 本学教育改革ビジョンと教育活動、地域社会に向けた専門人の育成

議題 2. 地域と共にある聖学院大学の教育の可能性と課題

議題 3. 聖学院大学の教育方針・内容に関する事項(書面によるご意見・評価・ご提言)

4. 外部委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職
1	新井 一年 (あらい かずとし)	さいたま北商工協同組合 副理事長
2	五十嵐 淳 (いがらし じゅん)	さいたま市教育委員会 学校教育部高校教育課 主席管理主事
3	井上 雅之 (いのうえ まさゆき)	人間総合科学大学 法人顧問
4	大石 克紀 (おおいし まさのり)	埼玉経済同友会 専務理事・事務局長
5	大野 弘明 (おおの ひろあき)	明治学院大学 副学長
6	川又 伸彦 (かわまた のぶひこ)	放送大学埼玉学習センター 所長
7	木村 真 (きむら しん)	埼玉県教育局 県立学校部高校教育指導課 教育指導幹
8	清水 信彰 (しみず のぶあき)	埼玉中小企業家同友会 専務理事
9	鈴木 隆夫 (すずき たかお)	埼玉県社会福祉協議会 福祉事業局長
10	西村 浩太 (にしむら こうた)	埼玉りそな銀行 宮原支店 支店長
11	藤波 伴安 (ふじなみ ともやす)	上尾市 市民生活部 次長
12	三井田 晴宏 (みいだ はるひろ)	上尾商工会議所 専務理事
13	八島 健 (やしま けん)	さいたま商工会議所 総務本部長

(敬称略、五十音順)

5. 開催日時・会場

日 時：2025 年 8 月 6 日（水）午前 10 時 00 分～12 時 30 分

（オルガン鑑賞会 午後 1 時 15 分～午後 1 時 45 分）

会 場：聖学院大学 エルピス館エルピスホール他

出席者：外部委員 13 名、内部委員 21 名

II 外部委員の意見・評価・提言

今回の大学評価会議では、現代の大学教育に求められているものとして、知識・技能の教授だけではなく地域や企業、行政等との連携による教育が必要であることを確認した上で、それを叶える本学の教育理念並びに昨年度からの教育改革の取組みを説明し、近隣自治体及び企業、他大学有識者との意見交換を行った。外部委員からは、基礎教育課程を中心とした本学教育改革や、地域連携を念頭に置いた教育活動への取組みに高い評価が寄せられた。各議題については下記の通り。

議題 1：本学教育改革ビジョンと教育活動、地域社会に向けた専門人の育成

昨年度より着手した本学教育改革について、教育ビジョンとカリキュラム改革、PBL 型授業の実践、「サーバント・リーダーシップ」の教育理念等への意見交換が行われ、入学前から聖学院エッセンシャルズ、専門科目から卒業までの一貫した教育プランについて高く評価された。一方で、他大学の有識者から基礎教育課程と学科専門教育課程の歩調を合わせることの難しさや DP ルーブリックの運用に関わる課題、また、現在進行中の教育改革や企業連携については、学生への丁寧なモニタリングを実施する必要がある旨の提言がなされた。

議題 2：地域と共にある聖学院大学の教育の可能性と課題

聖学院エッセンシャルズにおけるインターンシップの活用や PBL 型授業、卒業後の社会生活を見据えた教育についての議論がなされた。本議論にあたり、現在、昨今の学生全般の特徴や就職観、本学の学生が参画している諸活動について確認し、本学における教育活動と企業が求めるスキルの認識に注意する必要があること、社会状況や労働環境の変化を踏まえた就職支援の強化が必要であること等、内部委員との活発な意見交換がなされた。

議題 3：聖学院大学の教育方針・内容に関する事項

学長を中心とした教職協働体制、本学内部質保証の取組み、聖学院エッセンシャルにおける基礎教育科目と専門科目の連携と文理横断的なカリキュラム編成について評価がなされた。一方で、少子化時代における大学淘汰の時代にあって、「発信力」と「戦略的な取組み」に関する指摘がなされた。

III. 外部委員の意見・評価・提言を受けた聖学院大学学長の所見・総括

学長として、少子化時代においても本学が地域に根ざし、学生一人ひとりを大切に育てる教育を推進する。特に「サーバント・リーダーシップ」の理念のもと、大学と地域が共に学生を育て、成長させる機会を増やしていきたいと考えている。今後も地方自治体及び経済団体の皆様から意見やご指導を得る機会を持ち、より良い大学づくりに努めたく、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上